

授業科目名	日本語 B	担当教員	姚 瑤
必修の区分	選択		
単位数	1 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 3 クォーター		
講義内容	<p>本授業では、中級後半～上級レベルの留学生を対象に、実社会の言語素材を用いて、自然で高度な日本語運用力を育成する。自己理解・自己表現、文化・社会問題についての考察、他者との協働・議論、日本語の多様性の理解、実生活に役立つ説明・意見表明など、多角的なテーマを扱う。「聞く・話す・読む・考える」をバランスよく統合し、必要に応じて演劇的手法を取り入れ、対話力・表現力の向上を目指す。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然で高度な日本語を聞き取り、要点と論旨をつかめる。 ・ 自分の経験を深く掘り下げ、他者にわかりやすく伝えられる。 ・ 社会・文化テーマについて自分の意見を論理的に述べるができる。 ・ 複数の情報を比較・整理し、説明・提案ができる。 ・ 日本語の多様性・文化的背景について理解を深める。 ・ 場面や相手に応じた適切な言い方・配慮表現を使える。 		
授業計画	<p>第1回 ユニット6：働くということ① 第2回 ユニット6：働くということ② 第3回 ユニット7：日本語の多様性① 第4回 ユニット7：日本語の多様性② 第5回 6-7 復習 第6回 ユニット8：環境のためにできること① 第7回 ユニット8：環境のためにできること② 第8回 ユニット9：食の共同性① 第9回 ユニット9：食の共同性② 第10回 8-9 復習 第11回 ユニット10：笑いのちから① 第12回 ユニット10：笑いのちから②</p>		
事前・事後学習	<p>前回の授業内容について復習しておくこと。</p>		
テキスト	<p>『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語[音声ダウンロード版]』 著者：鎌田修ほか 出版年：2025 年 出版社：ジャパントタイムズ出版</p>		

参考文献	
成績評価の基準	授業態度(出席・発言等) (70%) 宿題など (30%)
履修上の注意 履修要件	原則として、20分を超える遅刻の場合は、欠席扱いとする。 欠席回数が4回以上(4回を含む)の学生は成績評価の対象外とし、単位を修得できない。
実践的教育	該当しない。
備考欄	受講者のレベルや人数によって講義の内容や計画が変わることがある。 留学生のみ履修可